

令和3年7月7日

人間関係で気をつけたいこと

大倉 朗寛

① はめられないように

→はめられ方がいくつかあるので注意が必要です。一般的には逃げ場所をつぶされて人数的優勢をつくれる方法があります。現代社会においては、勝つか負けるか、はめるかはめられるかという側面があるのは事実です。しかしながらリスクを回避して、時にはリスクをとりつつ、一日一日着実に前へ進んでゆくことが大切です。

② 利用されないように

→利用されるということは利用価値があるので、それはそれで良いことです。ただし、利用された分に対して適切な報酬や、それに見合う成果が確実に得られなければいけません。さらには、お金を先に払わされて、作業させられて、その上で利益がなければ最悪です。たとえ、人の成功体験をお金で買ったとしても、それは、その人にとっての成功体験であって、自分が成功できる保証は何もありません。自分の成功は、人生経験を踏まえて構築された独自の法則でこそ実現することができます。

③ 搾取されないように

→労働者であれば、労働力を搾取されます。近年の資本主義社会においては、先に労働力を搾取されて月末に給与として報酬を獲得するのが一般的となっています。なので、搾取されないためには、自ら資本家、あるいは土地所有者になることです。資本家とは、お金を使って、その使った以上にお金を回収する人たちのことです。土地所有者とは、所有している土地を利用して、お金を得る人たちのことです。

④ 裏切られないように

→それは期待されていた結果が得られないということです。人に対して必要以上に期待するのは間違いです。その期待こそが裏切られる原因なので、期待し過ぎずに結果そのものを素直に受け入れることが大切です。裏切られる前に関係を自ら先に断ち切るのが正解かと思います。出会って傷が浅いうちに見極めることが重要です。よくない相手であれば、精神的にも経済(金銭)的にも日々マイナスになりますので結果を冷静に見ていきましょう。特に最初に出会ったタイミングと相性は大切です。

人間関係はとても複雑で難解なものなので、日々のストレスの原因となりますが、それをうまくやっていくことで、新たな仕事につながり、より良い日常生活につながります。もちろん人間ひとりでは生きていけませんので、常にだれかと協力し、助け合い、励まし合って生きてゆかなければなりません。それだけ人間関係は日々の仕事と生活で重要です。

【人間関係をより良くするための6つの行動】

- ① いつも笑顔（嬉しい表情、元気な様子）でいる
- ② 自分から先に明るく挨拶する（名前や一言を添えるとベター）
- ③ 人の話をよく聞く（質問をする、適度に雑談を交える）
- ④ 悪口を言わない（悪口は必ず広がる、言うと言われるという因果応報）
- ⑤ 不平・不満を言わない（現状あるものごとに感謝する、ないものをねだらない）
- ⑥ 感謝する（相手を褒める、自分の気持ちを率直に伝える）

【人間関係をより良くするための6つの思考】

- ① 先入観をもたない（思い込みを捨てる、過信しない）
- ② 苦手意識をもたない（相手の良いところを探す、共通点を探す）
- ③ 自分さえよければよいと考えない（常に周囲への気配り・目配り・心配り）
- ④ 見返りを求めない（相手に期待しすぎない、無理のない範囲で供与が先という心がけ）
- ⑤ 相手のことを考える（相手の視点や価値観から考えて思いやる、何を求めているか）
- ⑥ 目上の人をたてる（何事にも謙虚な姿勢で取り組む、ご先祖様を大切に使う）

人間関係で思い悩む人が増えています。それだけ、仕事や日常生活でやりとりする情報量が増えて、やりとりするスピードも速まり、結果に求められることも高度になっています。もし、人間関係で思い悩むことがあったとき、それは起こったできごとや相手が悪いのではなく、また自分が悪いわけでもありません。たまたまタイミングが悪く、そして相性がよくなかっただけなのです。一人ひとりの考え方（思考）や感じ方（感覚）は日々変わります。よいことも、そうでないことも、その記憶すら日が経てば無くなってゆくものなのです。

そこで大切となってくるのは、まずは自分のタイミングと相性（のよい相手）です。そのことをしっかりと把握することで、人間関係で思い悩むことが少なくなって、日々の仕事や日常生活でのストレスも軽減されます。相性のよい相手とは深くかかわり、相性のよくない相手とはなるべく関わらないようにするということがとても大切です。

要するに、何か問題やトラブルが起きるといことは、相性のよくない相手と関わってタイミングがよくないときに行動すると、その結果が期待していたものと異なったものになるということと考えることができます。なので、よくない相性の人とよくないタイミングに行動することを回避することで、問題やトラブルを回避することができ、仕事もはかどるようになり、チーム全体としての生産性を各段（桁違い）に向上させることができるのです。

これまでの資本主義社会においては、むやみやたらに人々の行動を増やして、速めることによって生産性を上げる努力を続けてきましたが、もう限界に到達し、限界を超えています。なので、現代に生きる私たちは病んでしまうのです。その人間として本来もっている健全な思考や感覚を麻痺させてまで現在社会を生きるのはナンセンスです。一人ひとりが自分の特性に気づいて、日々穏やかに過ごせてゆけるように、引き続き取り組んでまいります。

最後までお読みいただきまして、真にありがとうございました。感謝&感激です。